



## みどりの東北

「へえ〜、そうなんだ!」  
樹木の赤ちゃん

岩手北部森林管理署 技術専門官

松尾 亨

Tooru Matsuo

**永** 年林業に携わっていても、あまり目にする機会が少ないのが、樹木の花と芽出しの稚樹です。どちらも短い期間でタイミングを見計らってその特徴をとらえるのが観察のこつです。今回はこれらの樹木の赤ちゃんについてクイズ形式で学んでみましょう。

風媒性の樹木の特徴は、春先の風を利用し遠くに花粉を飛ばすことと、種をより遠くに散布するために、飛ばす・転がる・運ばれる等の工

夫があることです。虫媒性の樹木は、春から夏にかけて花が咲き、昆虫を惹きつける花弁や、香りを持っているものが多いようです。

どちらのタイプも種子が発生する場所は稚樹の生育には重要な要素です。生き残りをかけた落下・着地・隠れ家はどんな場所がいいのでしょうか?下のクイズに出てくる6種類の樹木は、東北の森林に多く分布しています。さあ、クイズに挑戦してみましょう!

**Q.** 次の6枚の写真は、カラマツ・ホオノキ・ブナ・ミズナラ・イタヤカエデ・ダケカンパノ木の赤ちゃんです。どの写真がどの樹木の赤ちゃんか、①から⑥のヒントをたよりに当ててね!

- ① 写真のように帽子をかっぶって2葉で発生し、1年目は本葉2枚を出します。
- ② 最初の2葉は細長く親に似ませんが、次の2葉がへこんで親の雰囲気があるかな?
- ③ 実生の赤ちゃんはなかなか出会えませんが、日本の樹木最大の花を咲かせます。
- ④ 貯食して置くはずが……忘れちゃったか?隠した本人が食べられちゃったのか?
- ⑤ 1.5mmくらいの小さい粒が、30mの大木に。ふるさどが信州で建築材になる。
- ⑥ スキー場の残雪に十字形の種がパラパラ。樹皮は剥げやすく鯉節みたい?



①



②



③



④



⑤



⑥

クイズの答えは次のページにあるよ!